

これからの学校のあり方に関する保護者アンケート

中学校

令和7年2月

舞鶴市教育委員会

これからの学校のあり方に関する保護者アンケート（中学校・速報値）

1. 基本情報

- ・回答期間：令和6年12月20日(金)～令和7年1月6日(月)
- ・対象者：市立中学校に通学している生徒(1,941人)の保護者(1,741世帯)
- ・回答者数：665人
- ・回答率：38.2%(回答者数/世帯数)

【概要】

- 回答者の続柄は、母親が85.6%、父親が14.3%
- 回答者は、63.5%が40代の方、21.7%が50代の方
- 標準規模校に所属する子どもの世帯数は1,183世帯(中学校世帯数の67.9%)、うち回答があったのは467人(中学校世帯数の26.8%)
- 小規模校に所属する子どもの世帯数は558世帯(中学校世帯数の32.1%)、うち回答があったのは198人(中学校世帯数の11.4%)

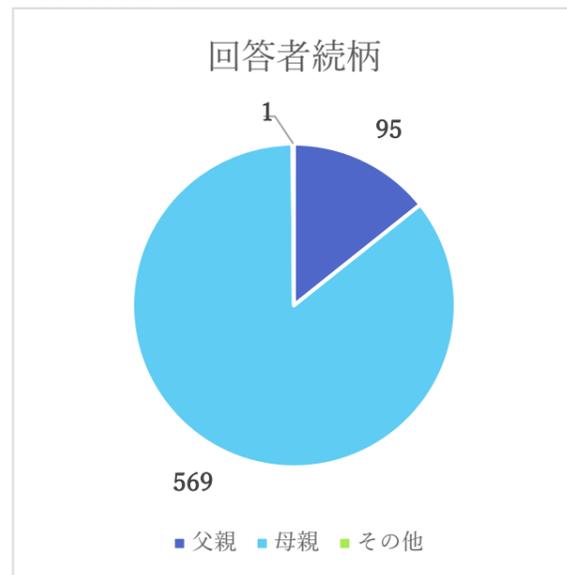
※世帯数 ……令和6年5月1日現在の保護者のPTA会員数

※標準規模校 ……青葉、白糸、城南学校

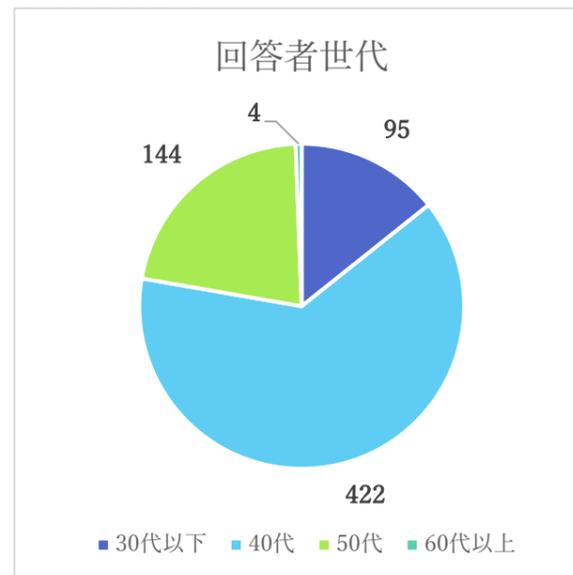
※小規模校 ……和田、城北、若浦、加佐中学校

※比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入により処理していますので、数値の合計が100%にならない場合があります。

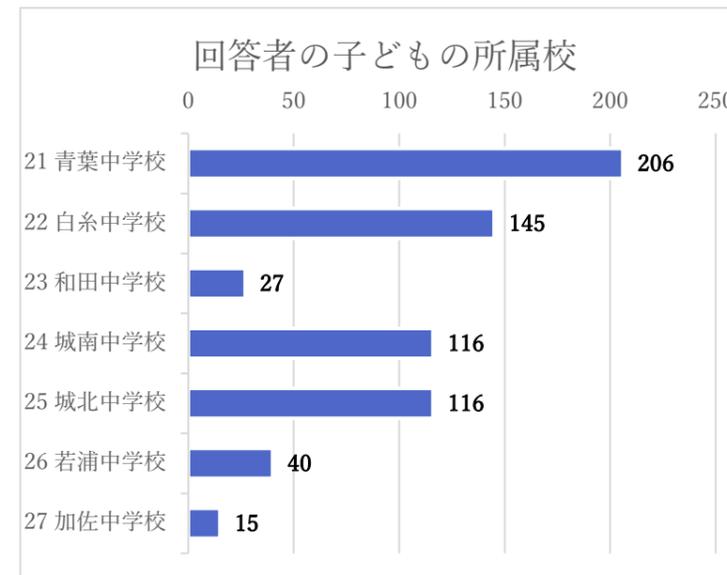
(1)回答者続柄



(2)回答者世代



(3)回答者の子どもの所属校



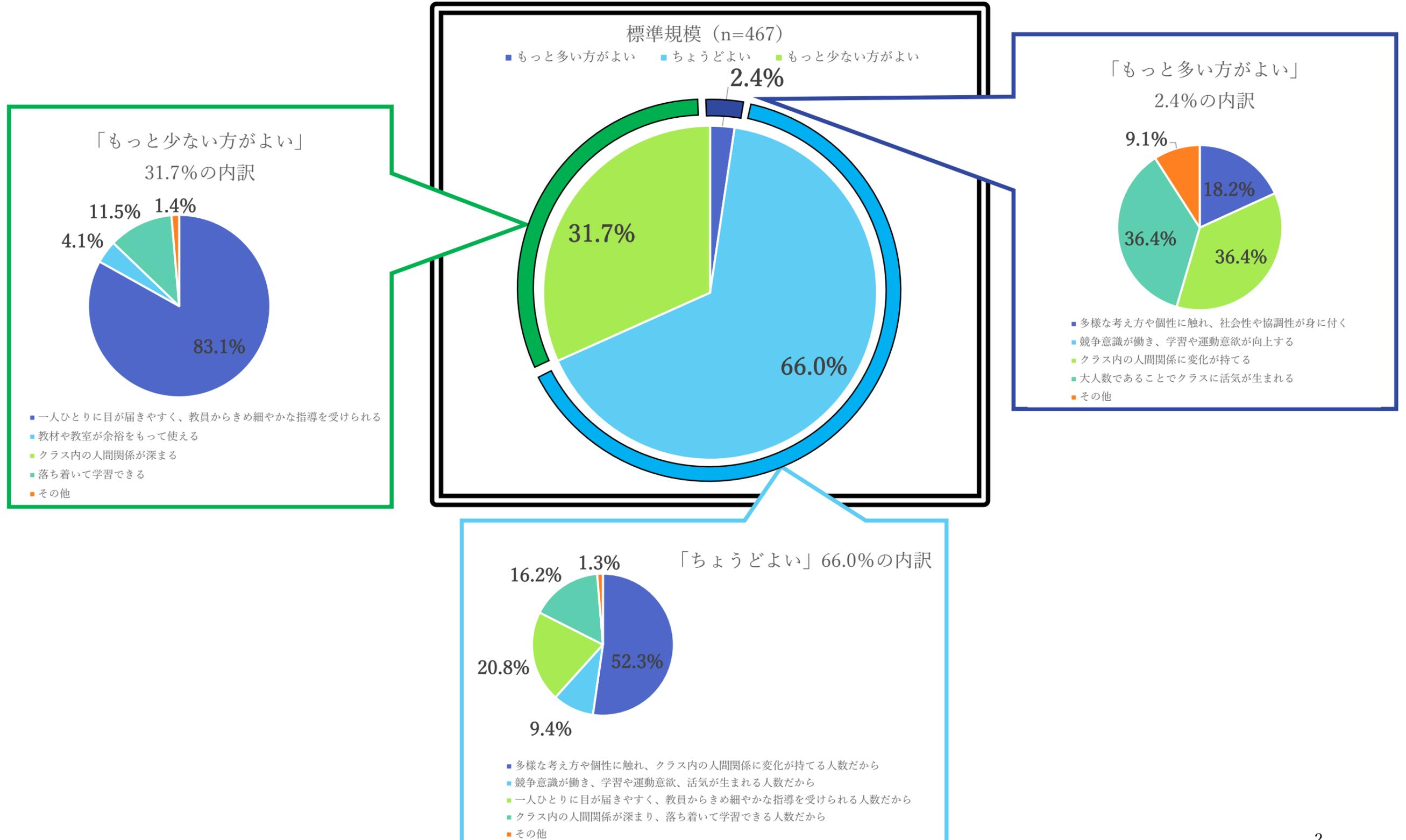
※(参考)学校規模、世帯数、回答率

学校名	規模	世帯数	回答率
21 青葉中学校	標準規模	429	48.0%
22 白糸中学校	標準規模	425	34.1%
23 和田中学校	小規模	81	33.3%
24 城南中学校	標準規模	329	35.3%
25 城北中学校	小規模	348	33.3%
26 若浦中学校	小規模	76	52.6%
27 加佐中学校	小規模	53	28.3%

2. お子様のクラスの「人数」について、どのように感じておられますか？

(標準規模校集計)

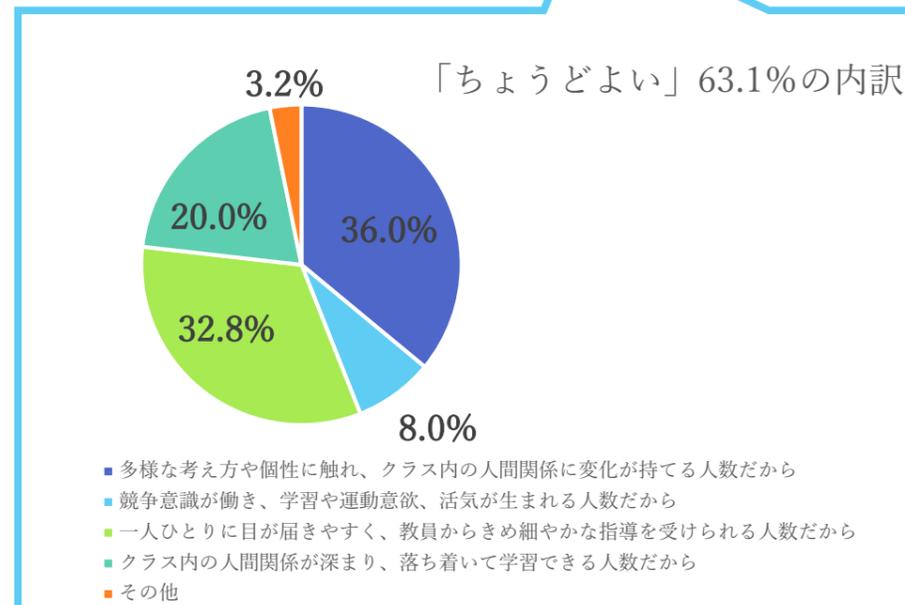
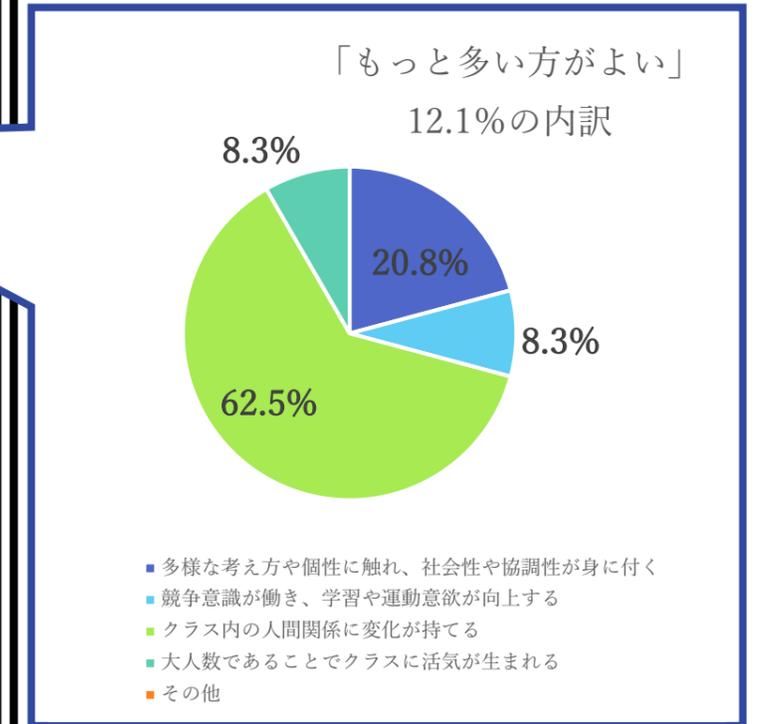
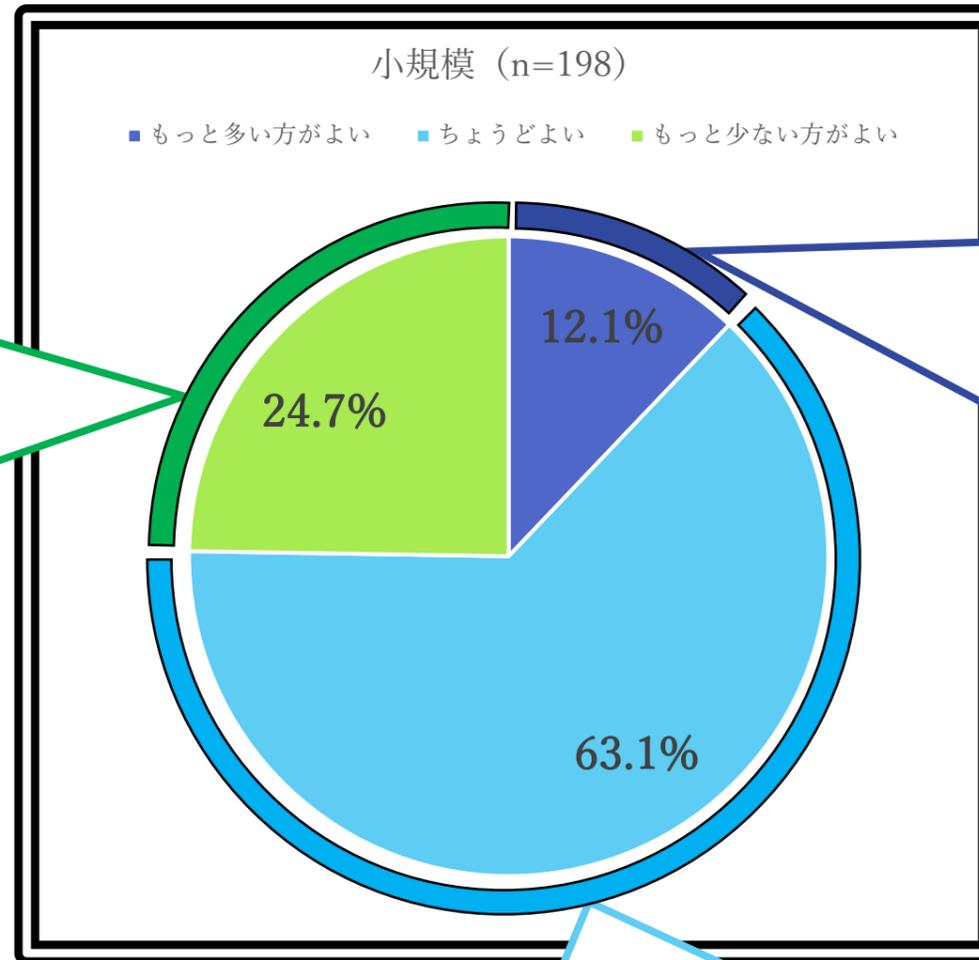
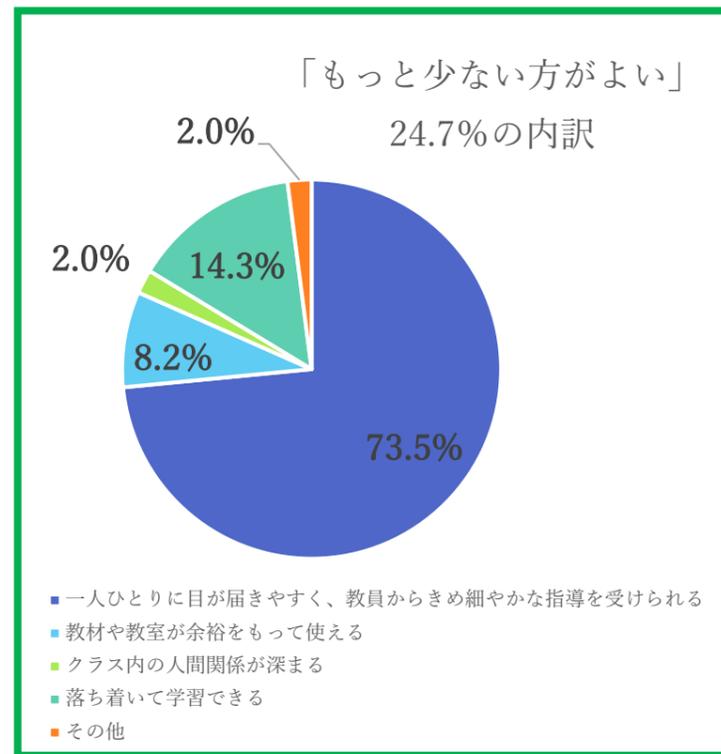
標準規模校における回答は、66.0%が「ちょうどよい」、
31.7%が「もっと少ないほうがよい」、
2.4%が「もっと多いほうがよい」。



2. お子様のクラスの「人数」について、どのように感じておられますか？

(小規模校集計)

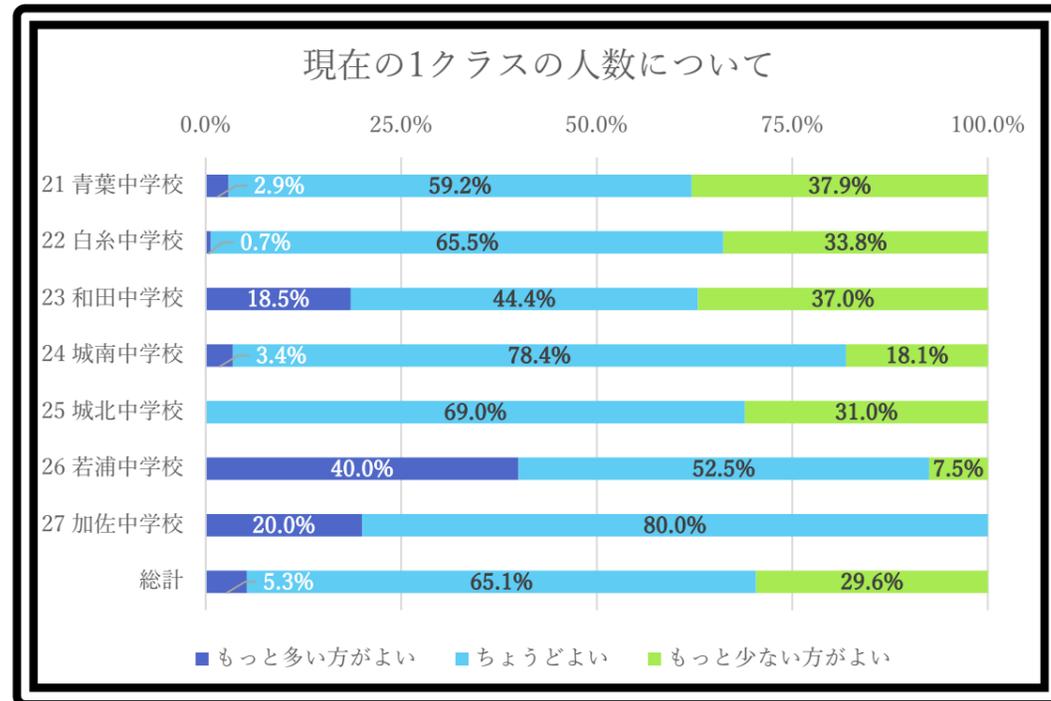
小規模校における回答は、63.1%が「ちょうどよい」、
12.1%が「もっと多いほうがよい」、
24.7%が「もっと少ないほうがよい」。



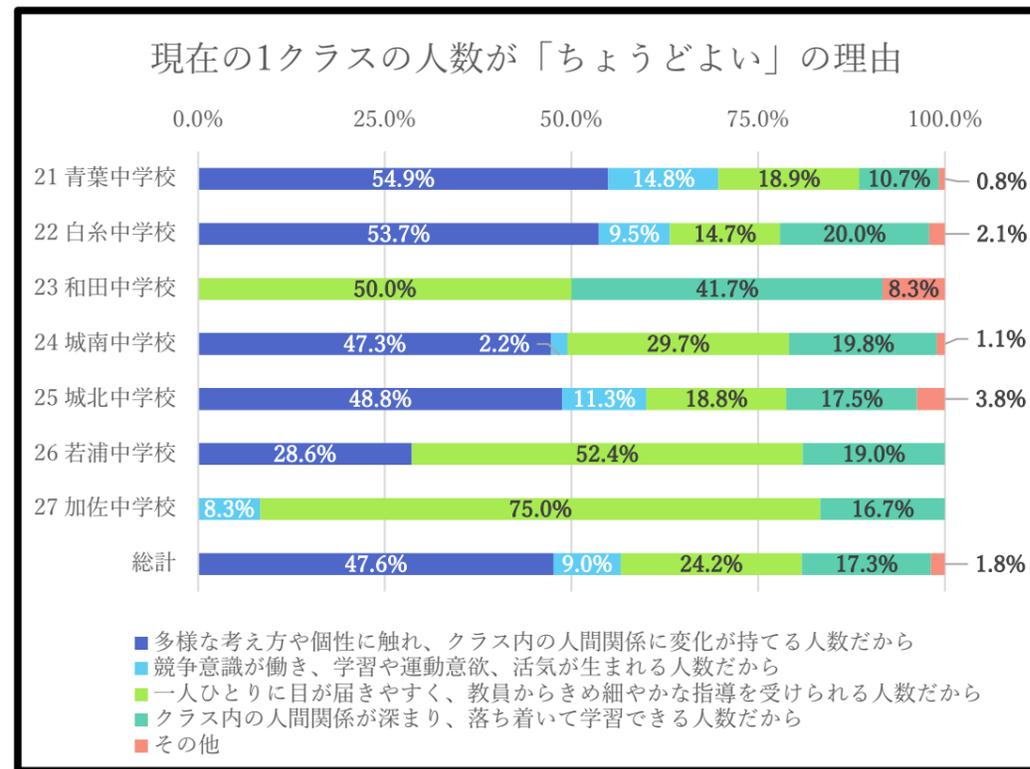
2. お子様のクラスの「人数」について、どのように感じておられますか？

(学校別集計)

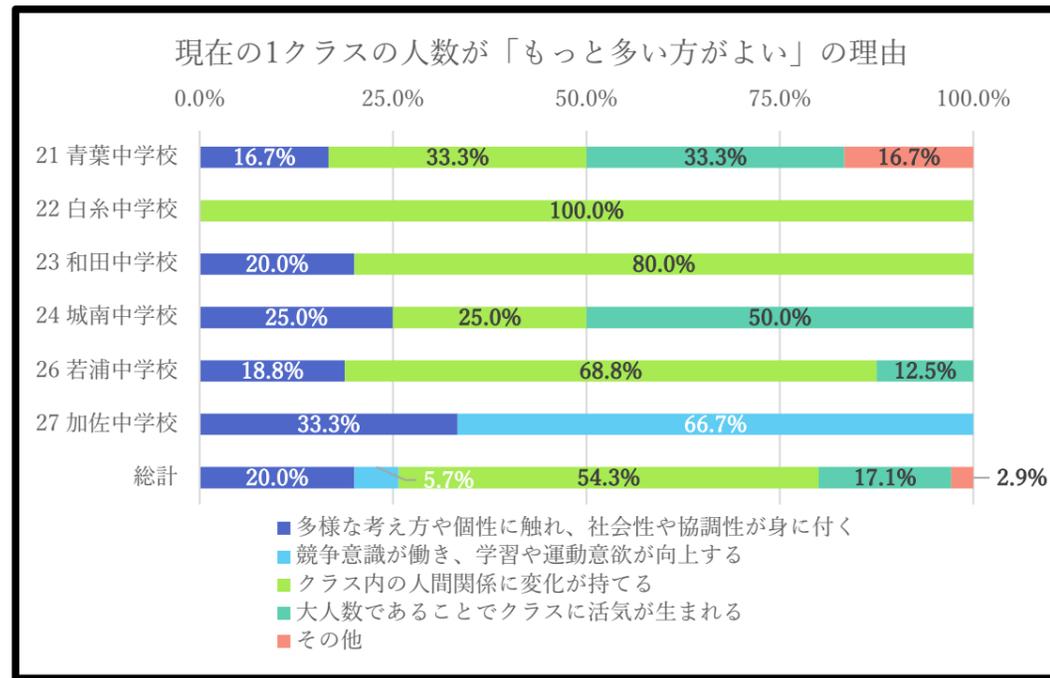
(1)現在の1クラスの「人数」について



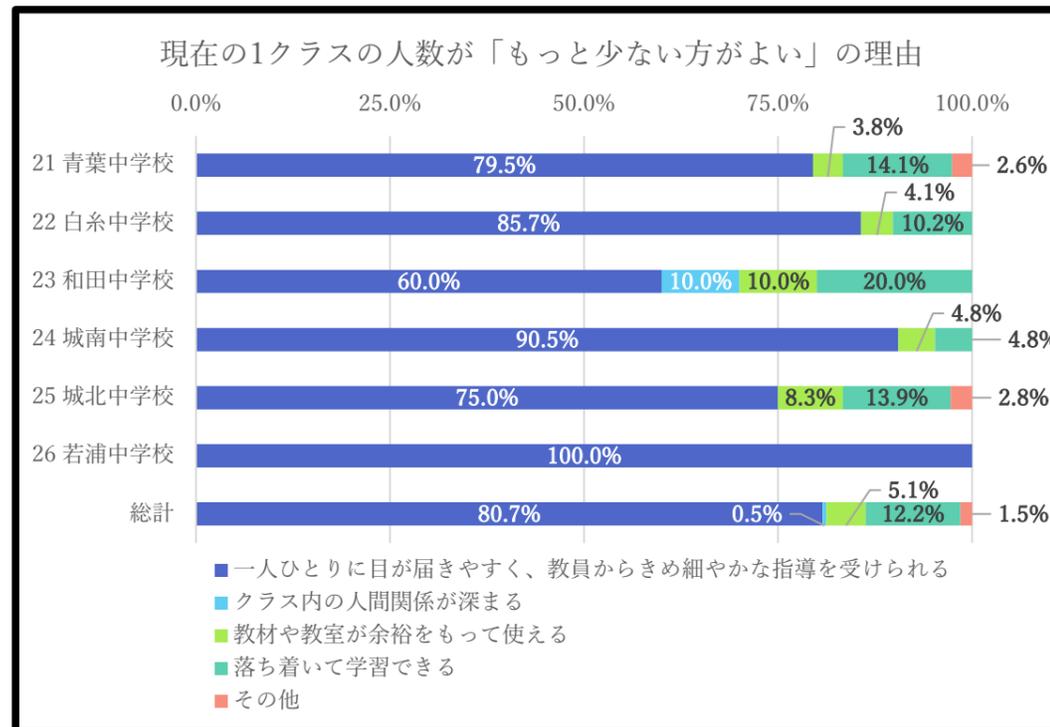
(2)「ちょうどよい」の場合、その理由(最もあてはまるもの1つ)



(3)「もっと多い方がよい」の場合、その理由(最もあてはまるもの1つ)



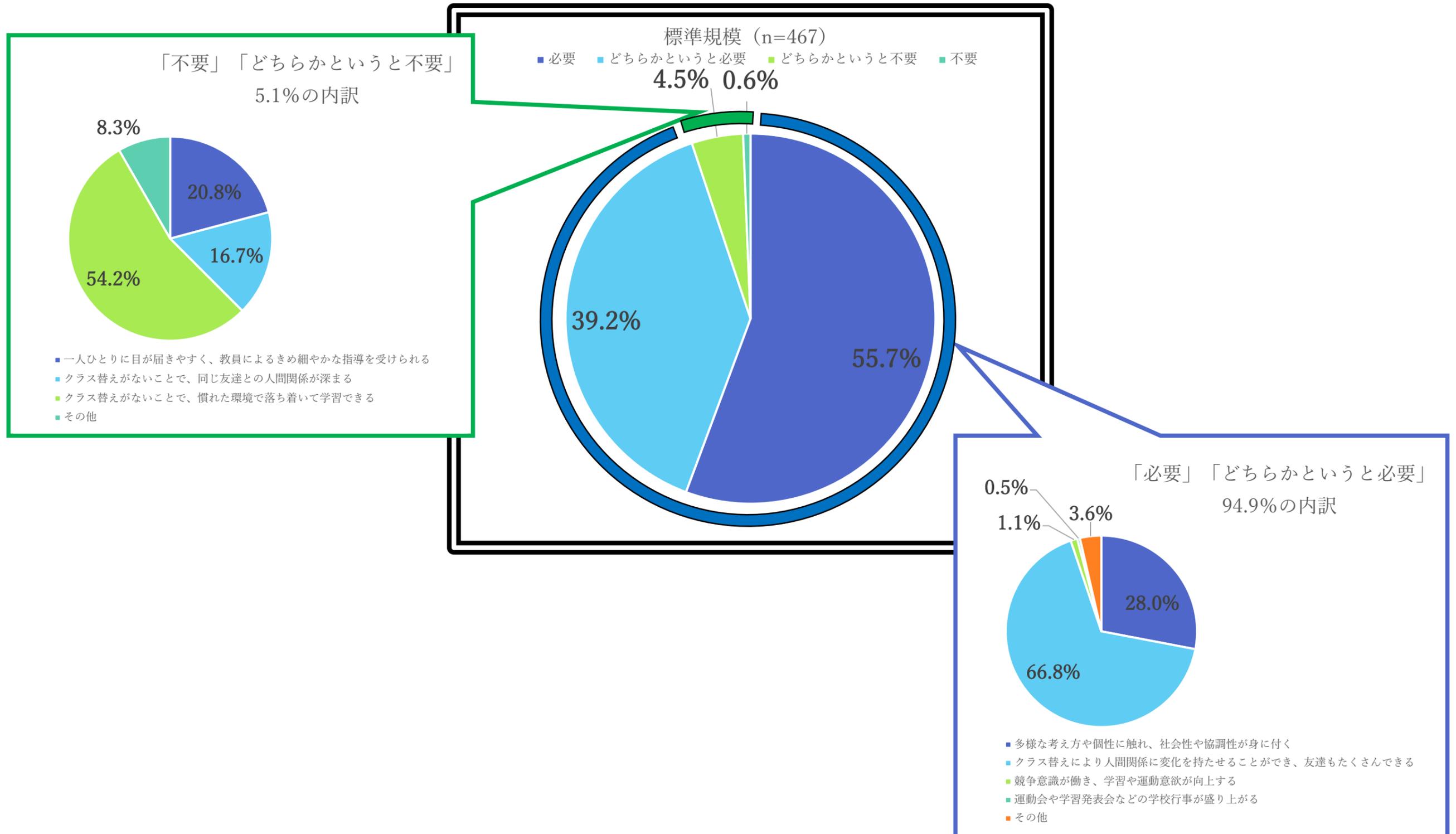
(4)「もっと少ない方がよい」の場合、その理由(最もあてはまるもの1つ)



3. クラス替えは必要だと思いますか？

(標準規模校集計)

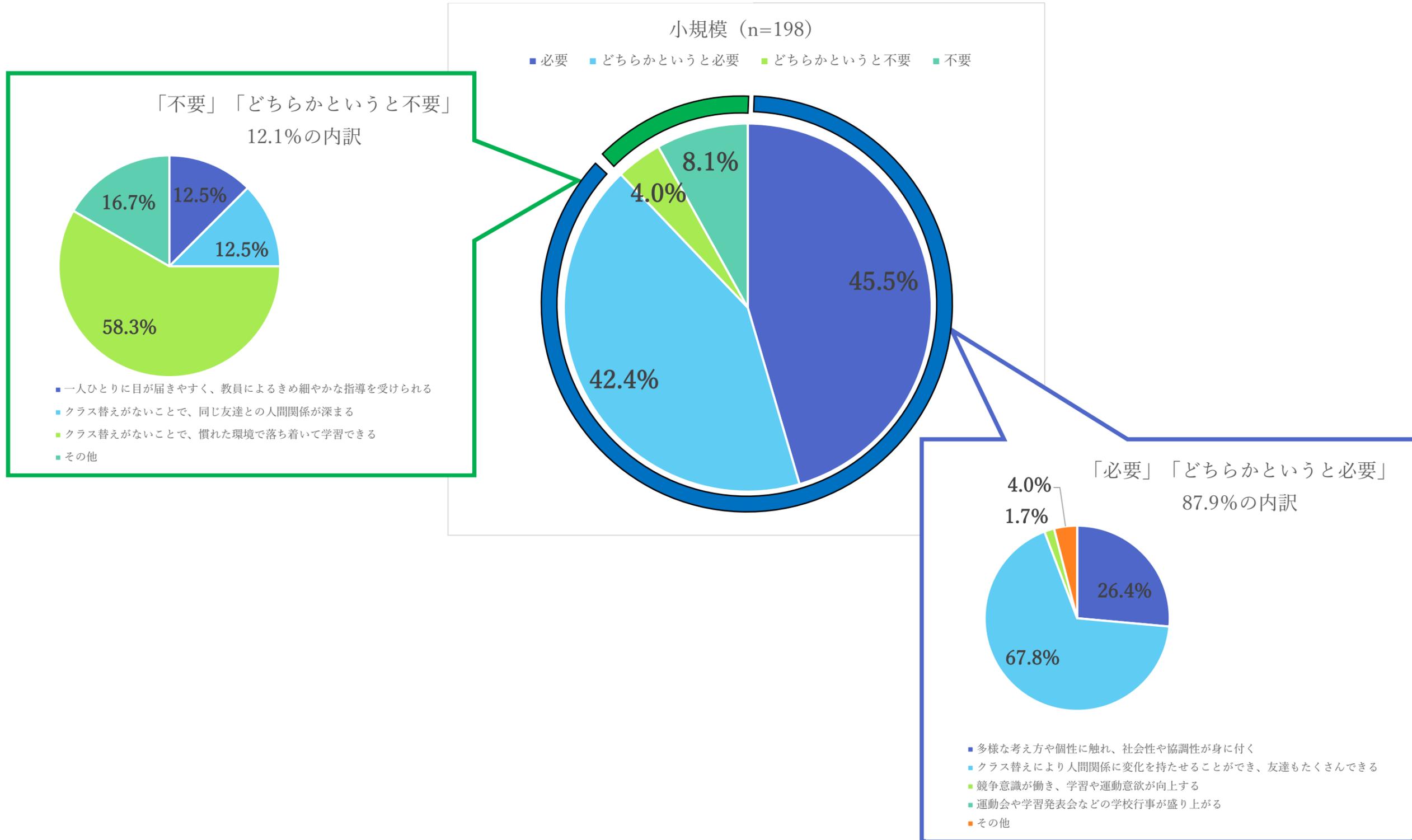
標準規模校における回答は、94.9%が「必要」、「どちらかという必要」。



3. クラス替えは必要だと思いますか？

(小規模校集計)

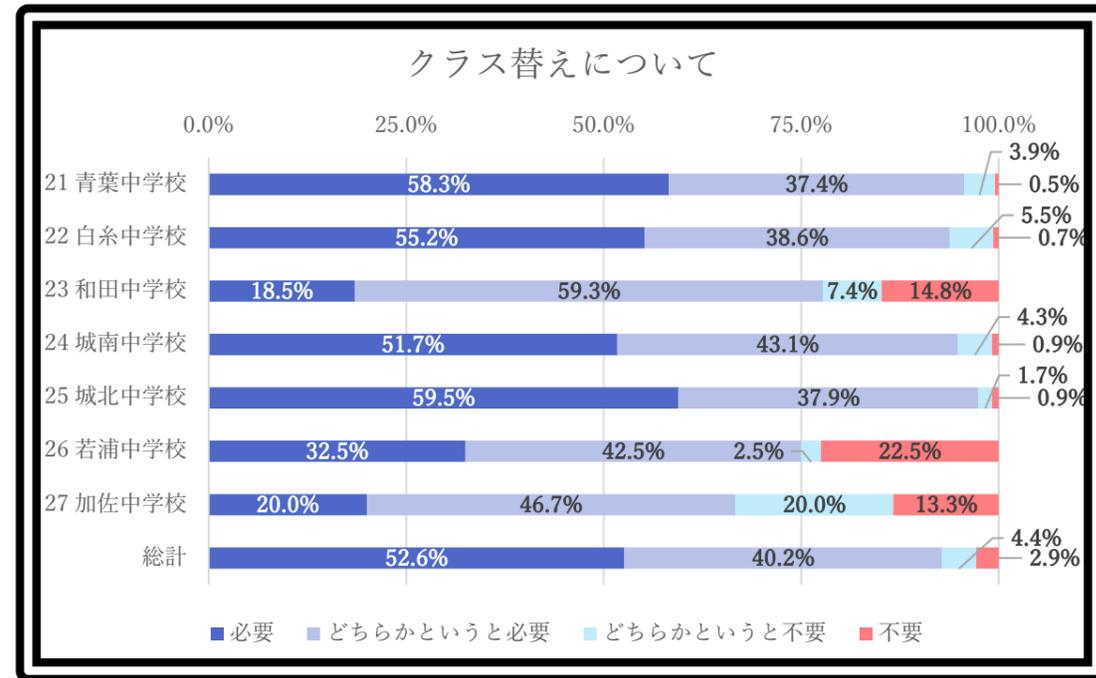
小規模校における回答は、87.9%が「必要」「どちらかという必要」、
12.1%が「不要」「どちらかという不要」。



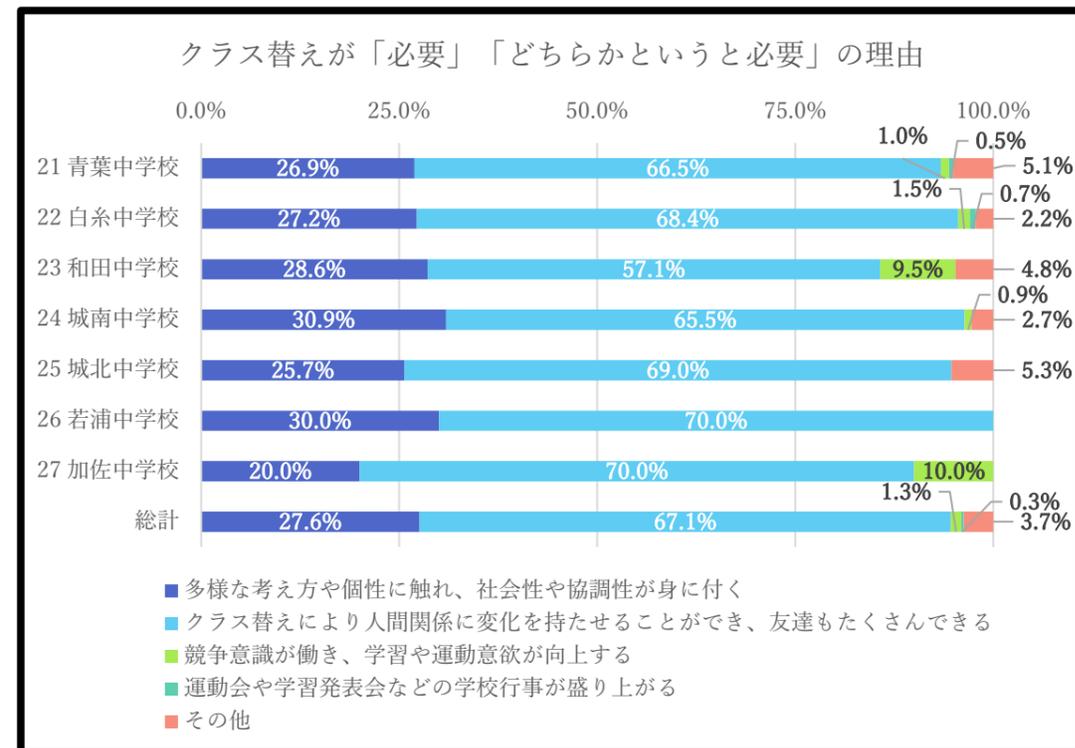
3. クラス替えは必要だと思いますか？

(学校別集計)

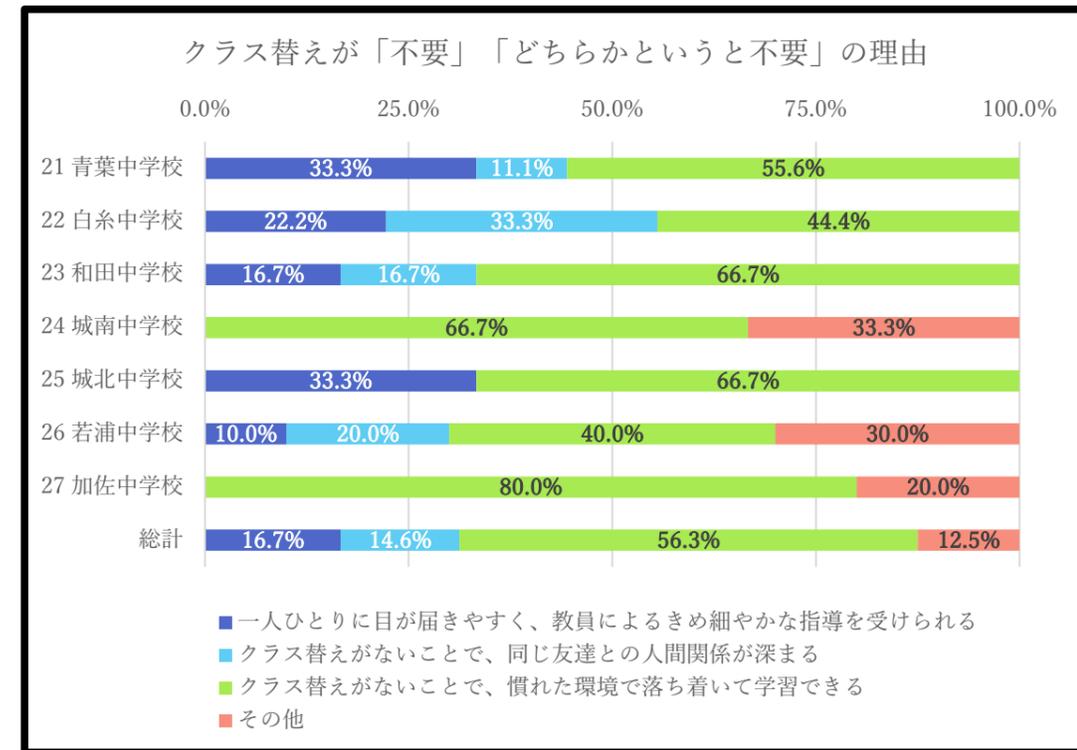
(1) クラス替えについて



(2) 「必要」「どちらかという必要」の場合、その理由(最もあてはまるもの1つ)



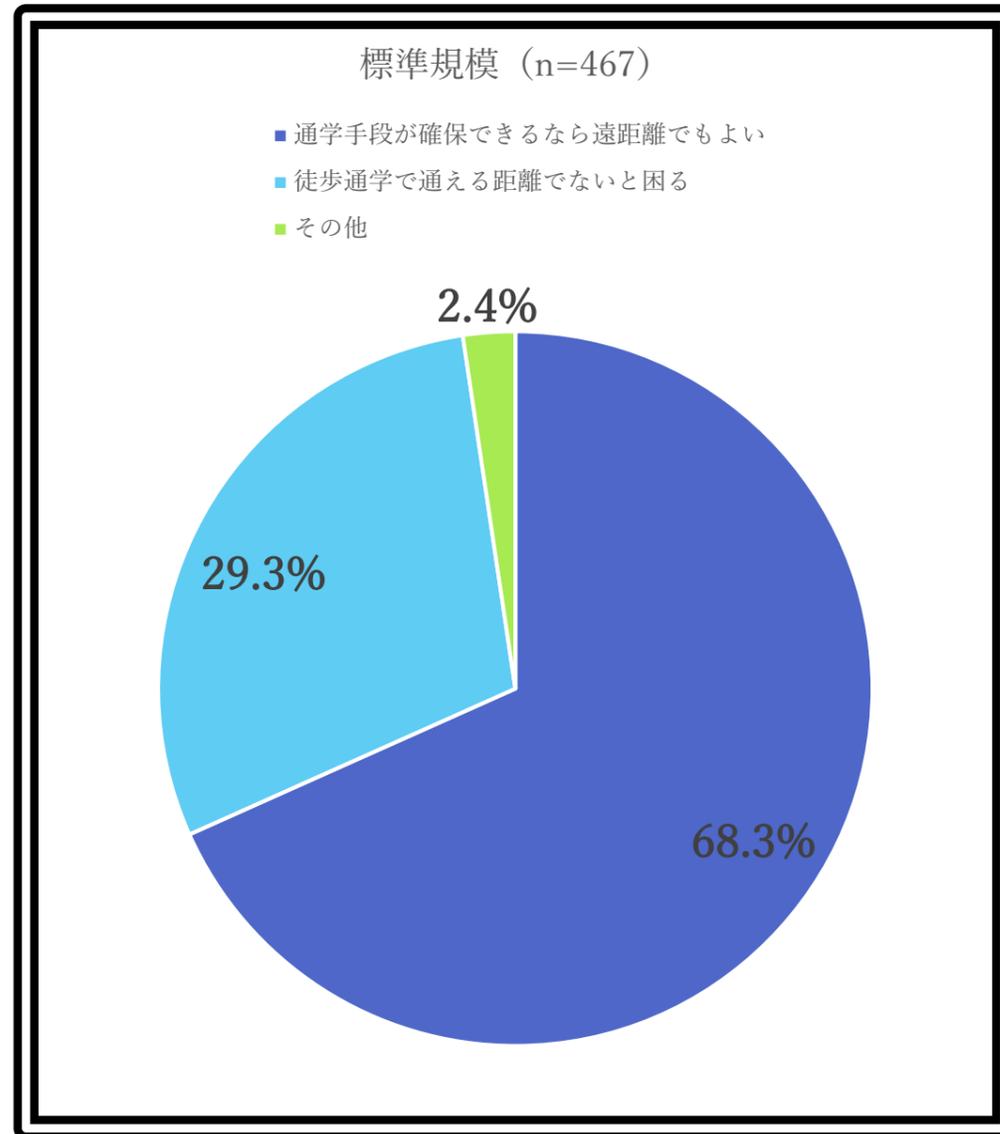
(3) 「不要」「どちらかという不要」の場合、その理由(最もあてはまるもの1つ)



4. もし、お子様の通学する学校が他の学校と統合した場合、自宅からの通学距離が遠くなることについて、お考えをお聞かせください。

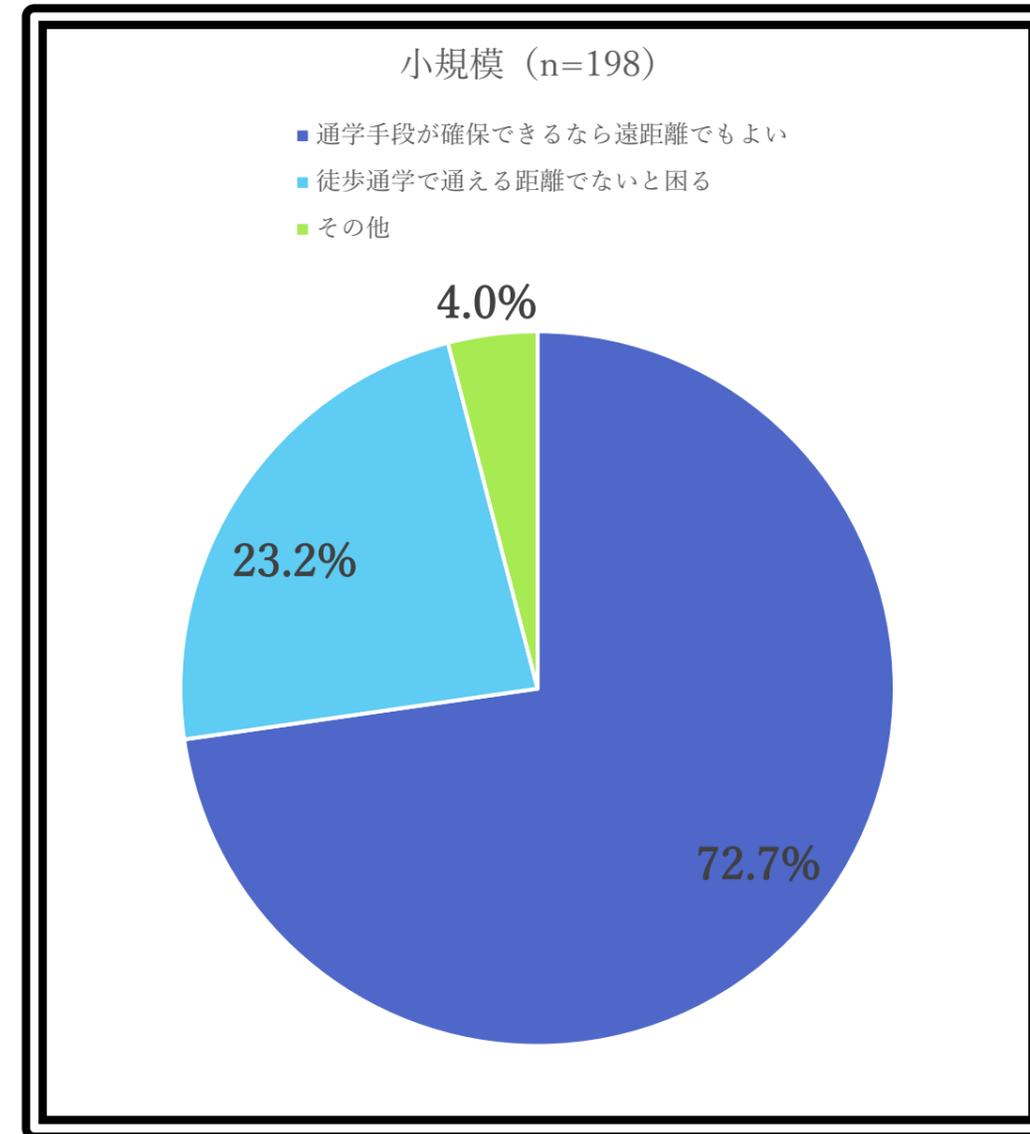
(標準規模校集計)

標準規模校における回答は、68.3%が「通学手段が確保できるなら遠距離でもよい」、29.3%が「徒歩通学で通える距離でないと困る」。



(小規模校集計)

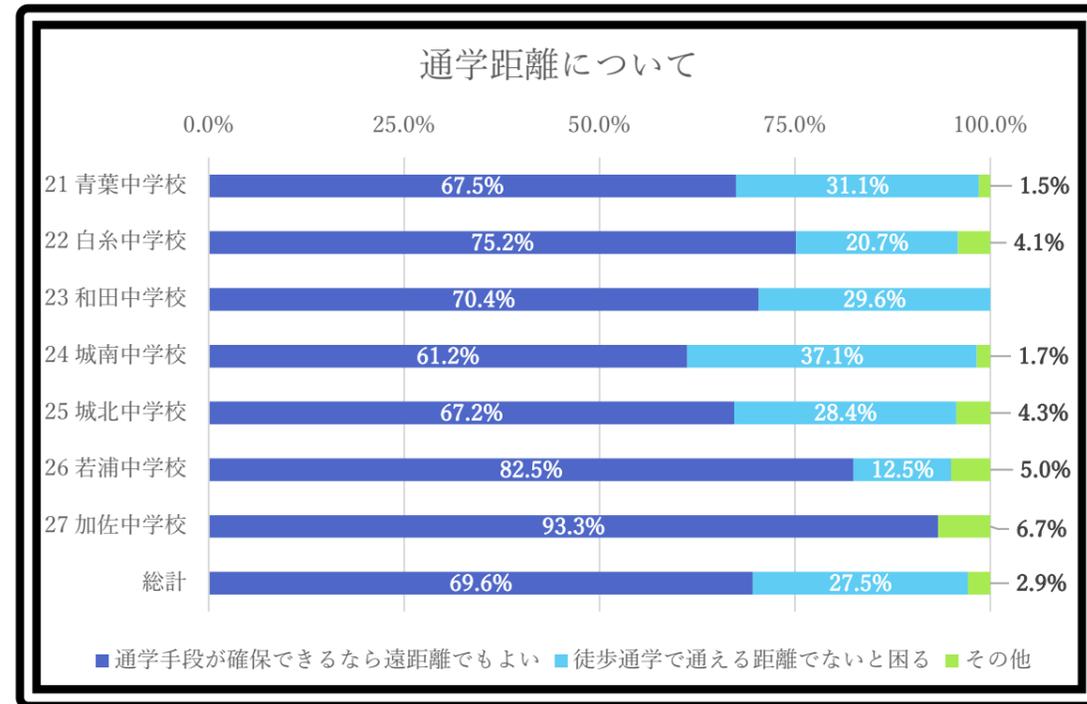
小規模校における回答は、72.7%が「通学手段が確保できるなら遠距離でもよい」、23.2%が「徒歩通学で通える距離でないと困る」。



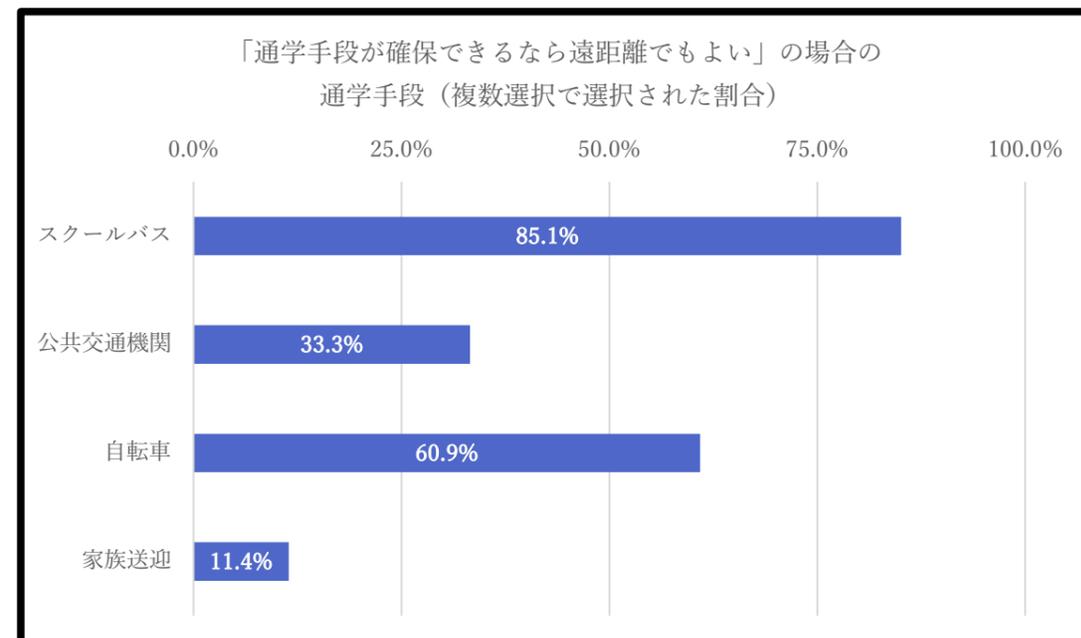
4. もし、お子様の通学する学校が他の学校と統合した場合、自宅からの通学距離が遠くなることについて、お考えをお聞かせください。

(学校別集計)

(1)通学距離について



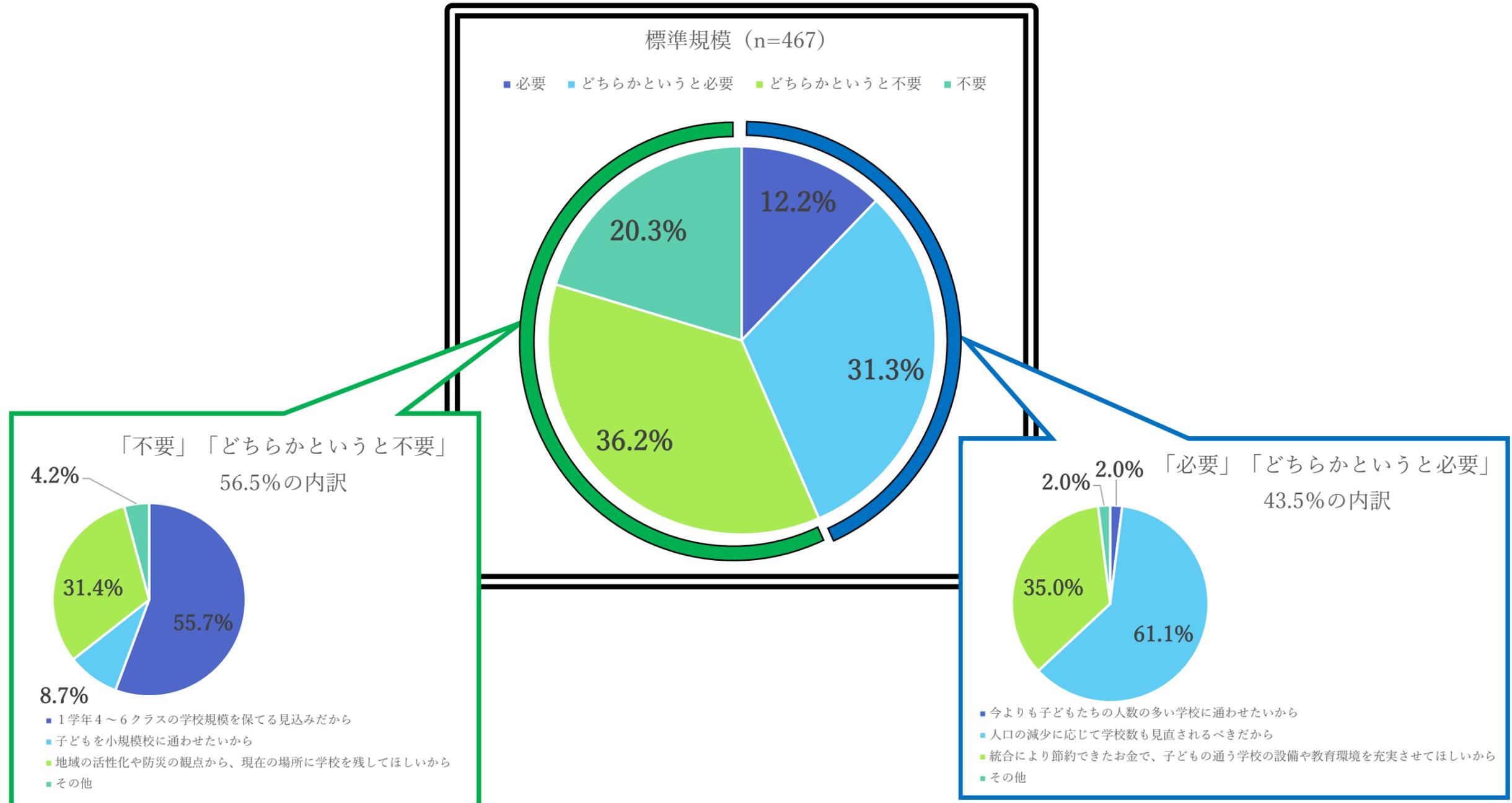
(2)「通学手段が確保できるなら遠距離でもよい」の場合の通学手段(全て選択)



5. 別紙「舞鶴市の小・中学校のいまとこれからについて」より、子どもたちの人数が減っていく将来について
 ご覧になった上で、“お子様が通学する中学校”の統合は必要と思いますか？

(標準規模校集計)

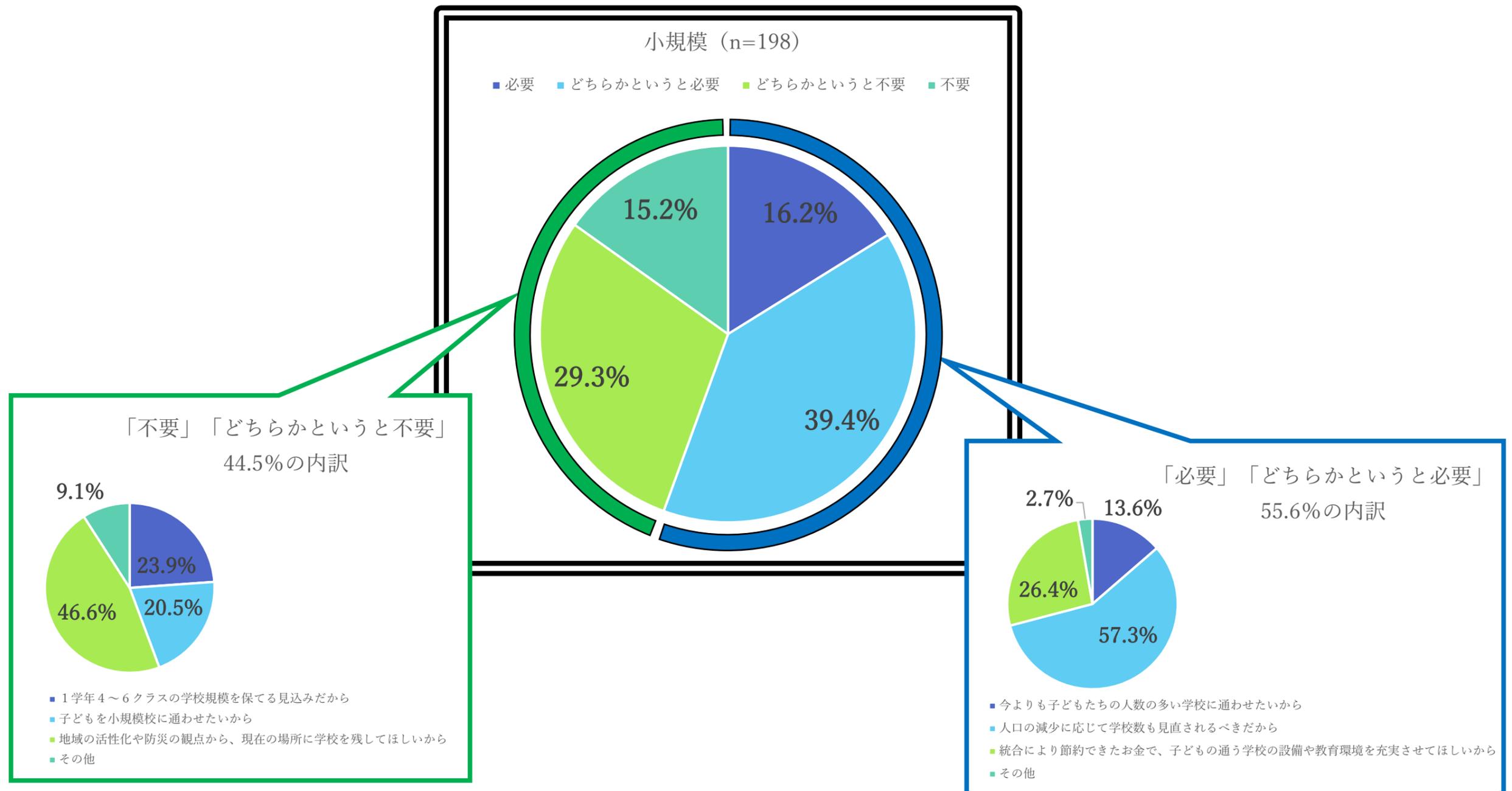
標準規模校における回答は、43.5%が「統合が必要」、「どちらかという必要」であり、
 その理由は、61.1%が「人口の減少に応じて学校数も見直されるべきだから」。
 また、56.5%が「統合は不要」、「どちらかという不要」であり、
 その理由は、55.7%が「1学年で4～6クラスの学校規模を保てる見込みだから」。



5. 別紙「舞鶴市の小・中学校のいまとこれからについて」より、子どもたちの人数が減っていく将来について
 ご覧になった上で、“お子様が通学する中学校”の統合は必要と思いますか？

(小規模校集計)

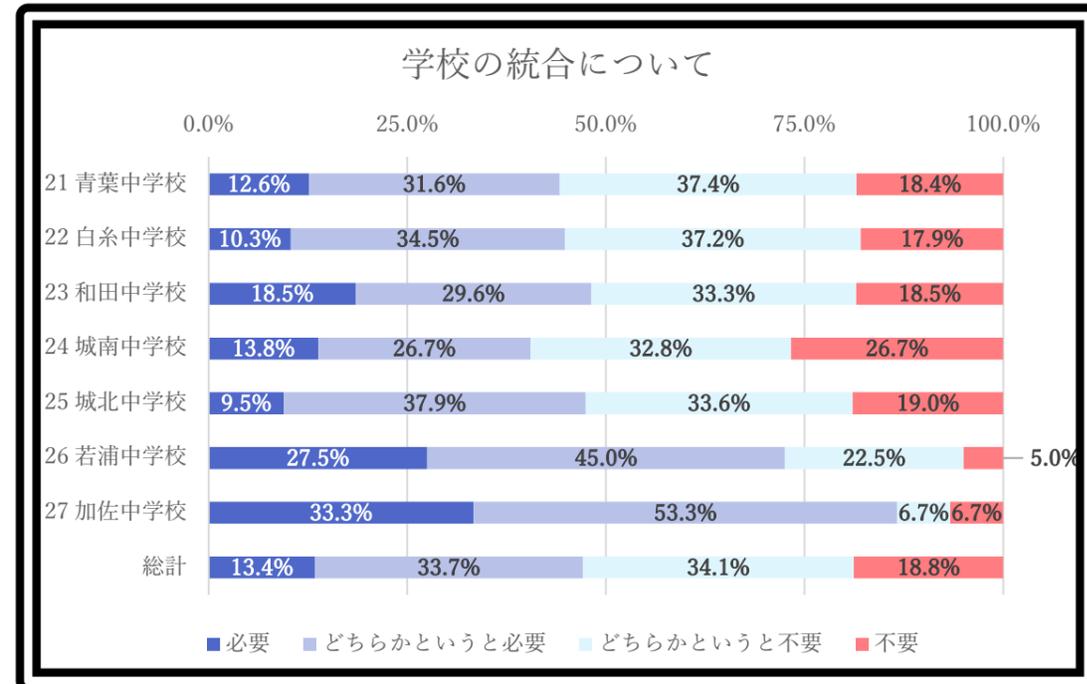
小規模校における回答は、55.6%が「統合が必要」、「どちらかという必要」であり、その理由は、57.3%が「人口の減少に応じて学校数も見直されるべきだから」。
 また、44.5%が「統合は不要」、「どちらかという不要」であり、その理由は、46.6%が「地域の活性化や防災の観点から、現在の場所に学校を残してほしいから」。



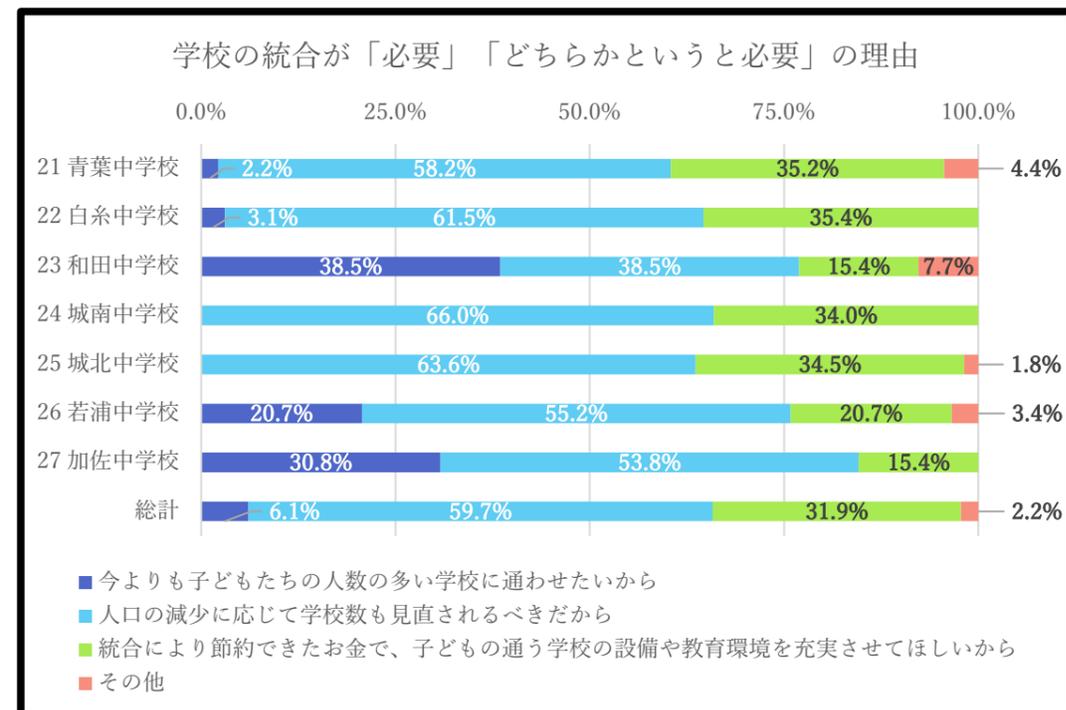
5. 別紙「舞鶴市の小・中学校のいまとこれからについて」より、子どもたちの人数が減っていく将来についてご覧になった上で、“お子様が通学する中学校”の統合は必要と思いますか？

(学校別集計)

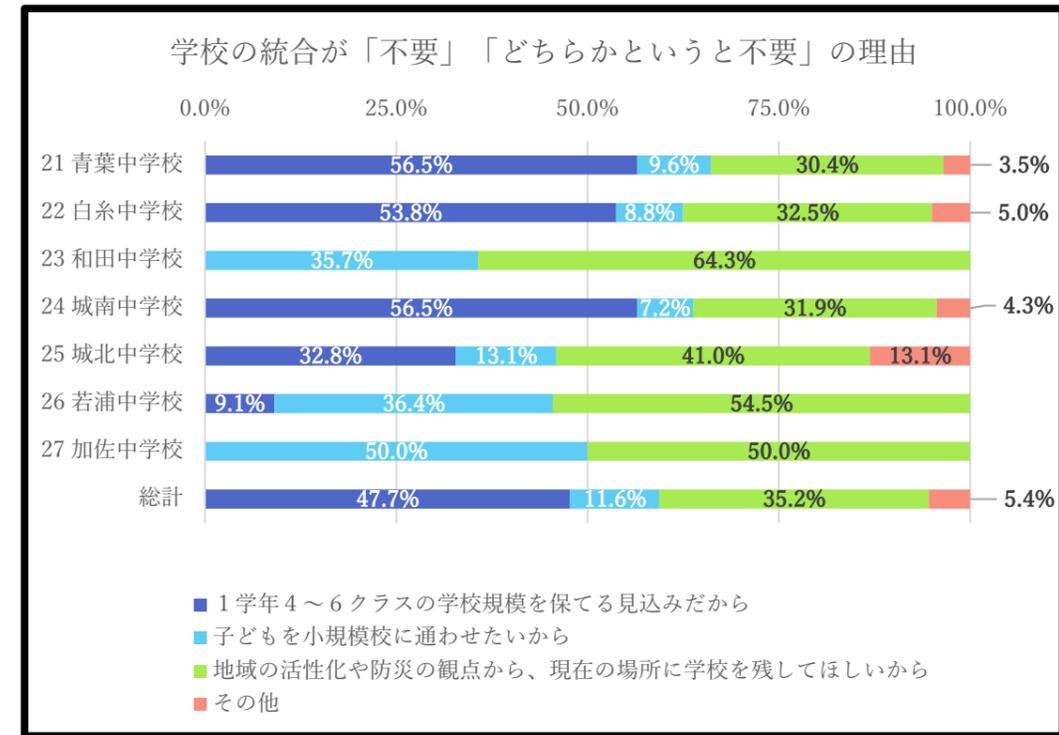
(1)学校の統合について



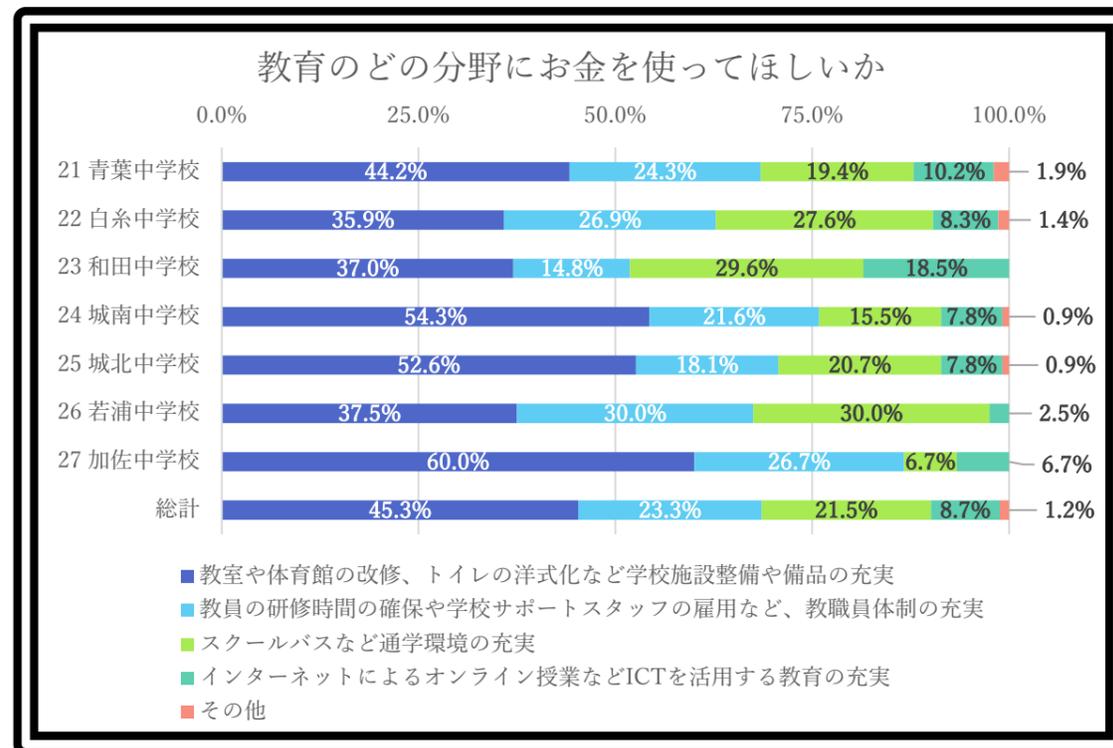
(2)「必要」「どちらかという必要」の場合、その理由(最もあてはまるもの1つ)



(3)「不要」「どちらかという不要」の場合、その理由(最もあてはまるもの1つ)



6. もし学校を統合した場合、学校施設の維持管理のお金が統合前に比べて少なくなると思いますが、節約できたお金を、子どもたちの教育のどのような分野に使ってほしいと思いますか？



7. その他、自由記述（学校の統合について、ご意見をお聞かせください。）

※自由記述意見の一部を記載。要約や類似意見の集約、語句の修正を含む。

【小規模校を残してほしい意見】
<ul style="list-style-type: none">● 学校を中心とした地域のコミュニティが形成されることが、地域の活気には欠かせない。また、子どもの登下校時の見守り活動等、地域の目が行き届くことは、子どもの非行防止や治安にもつながる。小規模や非効率であっても、きめ細やかに子どもの様子を見てもらえる方がありがたい。● もともと1つの学校が、過去に人口増加したことで分かれたのなら、人口減少によりもとの1つに統合するのは賛成。しかし、加佐や大浦など地域の基礎になる学校は、都市計画の変更や地域外からの通学など、存続を支える施策が必要だと感じる。
【統合に肯定的な意見】
<ul style="list-style-type: none">● 教員体制が充実したり、一つの学校に回せるお金が増えたり、子ども達の環境や先生の労働環境が向上するのであれば統合されてもいい。● 人数が少ないこともあり、学校に子どもがやりたかった競技の部活動がなかった。● 進学を考えるなら、学力向上、非認知能力向上のために、大人数の中でもっと他者と切磋琢磨しあえる環境を整えてあげたい。● あまりに人数の少ない小学校(1学年10名以下)から来た子が中学生になった時、クラスの人数の多さに戸惑っていた事例があった。● 少人数の学区だと幼小中と人間関係が固定された狭い世界で9年以上過ごすことになる。クラス内で気が合うグループに分かれることができる人数、クラス替えができるクラス数は必要。● 中学校は東西それぞれ2校ずつ(城北と城南、青葉と白糸)でよいと思うが、小学校の方が、早急に統合が必要ではないか。中筋校区の国道より西側を高野校区に、中筋校区の伊佐津川より東を池内校区に再編したほうがよいという意見は地域ではよく言われているが、子供の人数の減少スピードを考えたら再編ではなく、統合にするべきなのかもしれない。● 人口が減少する中で現状維持は難しいので、統合することで環境が充実するのであればしかたない。● 人数が少なくなってから学校の統廃合を検討するのは遅いので、近い将来の人数の見通しが出ているなら、小中学校の一体化も含めて早急に学校の統廃合について検討を進めるべき。
【通学方法への意見】
<ul style="list-style-type: none">● 学校が統合された場合、送迎バス等環境整備はしてほしい。

- 自転車通学禁止の為、毎日長い時間をかけて登下校している。自転車通学が可能なら、近隣の学校への通学も考えられる。
- 自転車や徒歩の場合、雨や雪の日の登下校が難しくなる為、雨や雪の日限定でもスクールバスを出すなど配慮して貰いたい。
- 中心部と周辺部での通学環境差が大きくなることが予想されるため、統合に際して十分な調整と通学手段の確保が望まれる。
- 冬季は完全下校時間が早く、保護者は仕事で迎えに行けない。雪が降ると1時間程かけて歩いて帰ってこなくてはならない状況だが、送迎できる親ばかりではない。学校に残れるようにする、送迎バス等をだしてもらえるとありがたい。
- 学校が遠方になると通学方法の選択肢に家族の送迎が入るが、共働きやひとり親世帯では難しい現実がある。公共機関が利用しにくかったり、親戚も近くにいないかったり、親が送迎できるとは限らず、いろいろな家庭状況を熟慮いただきたい。
- 通学距離が遠くなるのであれば、たまにはオンライン授業という選択肢もとれないか。

【その他の意見】

- 校区が広くなることで、教員の負担が増えないか心配。
- あまりに少人数の場合は統合も仕方ないが、学校がある場所は地域の中心にあると思うので、統合したとしても校舎は地域にとって必要な場所として維持して欲しい。廃校後の校舎の利用法があればよいと思うが、そのまま放置されている学校を見ると心配になる。
- 学校の統合による影響は、生徒の人数や通学といった環境の変化だけではない。より広い地域から子どもたちが集まることにより、様々な問題が起こる可能性があるため、広い視点で検討していく必要がある。
- 統廃合は、教育の効率化と質の向上という面では必要な改革だが、実施するには以下の点を考慮すべきと思う。①地域コミュニティとの協議／②通学の負担軽減策の整備／③教育の質と地域振興の両立／④長期的な視点での政策